

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和 5年度学校評価 計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）
 A：十分達成できている
 B：おおむね達成できている
 C：やや不十分である
 D：不十分である

学校名	鳥栖市立鳥栖北小学校
1 前年度 評価結果の概要	・中間評価をもとに、取組をさらに推進させることで、目標に近づくことができた。来年度も振り返りを生かして取り組んでいきたい。 ・教科「日本語」やコミュニティ・スクールの取組の取組の広報活動が不十分であることが分かった。学校だよりや学校ホームページ、マチコミを使って取組を広く知らせていきたい。 ・コミュニティ・スクールとしての取組が軌道に乗ってきている。学校運営協議会とともに様々な行事を企画し、実施していきたい。
2 学校教育目標	豊かな心を持ち、個性に富み、たくましく生きる児童の育成
3 本年度の重点目標	

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示した成果指標を達成した教師80%以上		・教職員間で成果指標を共有するとともに、校内研修等により学年や学級集団、個々の児童の実態に応じた取組の促進を図る。					教務主任	
	○読書活動の推進	○読書量平均一人 70冊以上(低学年) 60冊以上(中学年) 50冊以上(高学年)		・図書委員会による図書館祭りや各学年のおすすめの本を提示するなど児童への啓発活動を進める。 ・読書週間にファミリー読書を推奨し、読書の習慣化を図る。					図書主任	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒70%以上		・友達のよさ見つけの実践を行う。 ・友達を大切にする実践(敬称をつけて友達を大切にする等)を行う。 ・学級づくりや道徳科の授業づくりに関する情報共有を行う。					道徳主任	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上		・いじめの定義について研修を行い、どのような行為がいじめに当たるかの理解を深める。 ・毎月10日の「鳥栖市いじめの命を考える日」にふさわしいアンケートを行い、即日確認するとともに、チームで迅速に対応する。					主幹教諭	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上		・授業の中で子どもの発言を積極的に認める。 ・児童が夢や目標をもつことができるような授業実践を行うとともに、実践についての情報を共有する。 ・キャリアパスポートを活用し、活動の見直しと振り返りを一体化して意識させることで、自己の成長に気づけるようにする。					特別活動主任	
	○「笑顔であいさつ」「笑顔でありがとう」が言える児童の育成	●「笑顔であいさつができている」と回答した児童生徒80%以上 ●友達に感謝の気持ちを伝えていると回答した児童生徒80%以上		・登校時に気持ちの良いあいさつができている児童を学年ごとに発表する。 ・全クラスで当番を決め、学校全体であいさつ運動に取り組む。					特別活動主任	
●健康・体づくり	①望ましい生活習慣の形成	①早寝早起きをしている児童90%以上を維持する。		・生活リズムアップ週間を実施し、学校・家庭の両面から、早寝早起きと朝ご飯を食べる習慣を意識させる。					①生徒指導主任 ②食育主任(校外) ③安全教育主任	
	②望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	②「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上		・家庭科や特別活動の中で、バランスのよい食事について取り扱い指導を行う。						
③安全に関する資質・能力の育成	③児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	③児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする		・交通安全教室を実施して正しい道路歩行や自転車の乗り方を身につけさせるとともに、グループで安全に下校するように各学年で指導を行う。						
○運動習慣の改善や定着化を目指した教育活動	○運動習慣の改善や定着化を目指した教育活動	授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で250分以上の児童生徒70%以上		・週に1回以上、各学級でレクリエーションの日を設定し、運動する機会を増やすようにする。					体育主任	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。		・業務記録により勤務時間の意識化を図る。 ・定時退勤日を設定し確実に実行する。 ・業務の精選を行う。					教頭	
	○ICT機器の活用	○ICT機器を授業や業務に活用できている職員の割合80%以上		・各種業務の文書のデータベースをつくり、活用できるように整備する。 ・ICT機器(PC、タブレット)を授業や業務に効率的に活用する。					教頭	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		

★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上		・教科「日本語」の実践内容について、学年通信で学期に1回紹介する。 ・児童の取り組みや感想等を、学級通信等で学期に1回以上伝える。					教科「日本語」主任
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○通常学級と特別支援学級で連携した交流及び共同学習の実施率100%。 ○特別支援に関する専門性と意識が向上した教員80%以上		・学年部と支援部で連携した校内支援体制を整備し、授業での合理的配慮の提供が常に行えるようにする。 ・ニーズに応じた研修会の実施(3回)。					特別支援コーディネーター
○学習への意欲の充実	○学習活動における人権意識の向上	○授業において、児童の人権意識が向上する「学び合い」を入れていく。児童による意思表明と、それに対する同意や称賛の割合50%以上		・学習活動において、指名やグループ発表などを通して、児童の意思を表明する機会を確保する。 ・児童同士が意思表明や同意、称賛などを行うことを通じて、自己肯定感や自尊心を高める機会を設ける。					研究主任 人権同和主任

●・・・果共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--